

栄区の地域福祉を取りまく状況

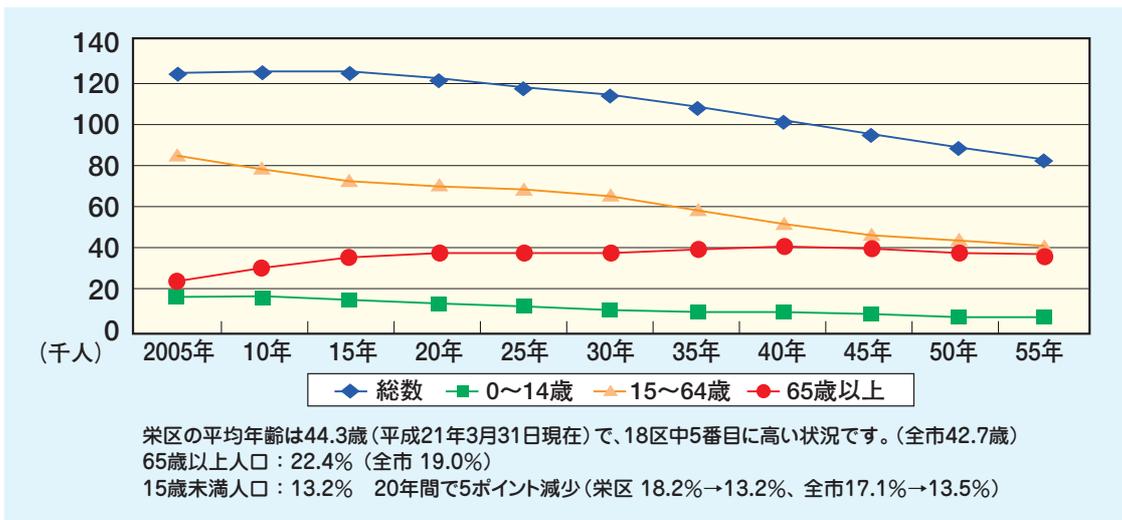
1 栄区の少子・高齢化

(1) 人口は124,740人(平成21年4月1日現在)

西区に次いで2番目に少ない人口。平成5年(1993年)をピークに減少していましたが、マンション開発に伴い平成14年から緩やかに増加しています。しかし、栄区の将来人口推計では、平成22年(2010年)以降減少すると見込まれています。

(表1) 栄区の将来人口推計

資料：都市経営局政策課



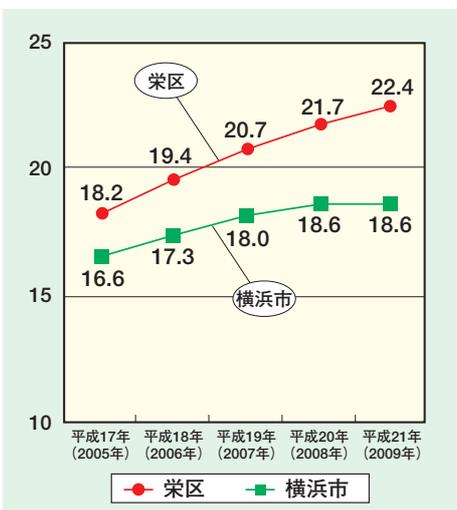
(2) 高齢化率は22.4%(平成21年3月31日現在)

高齢世帯数の割合は18.1%(平成17年10月1日 国勢調査)

栄区の高齢化率は、平成21年3月31日現在22.4%となっています。市平均を上回っており、さらに市平均よりも急激な増加を示しています。

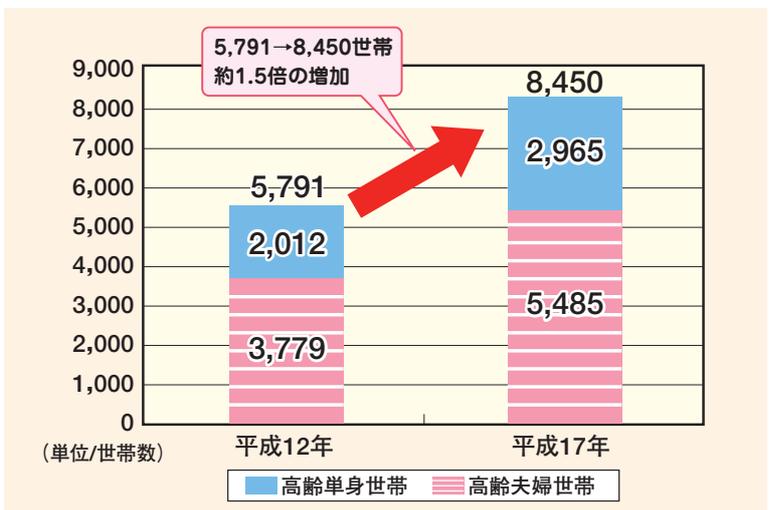
栄区の高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯数は8,450世帯と5年前の平成12年の調査に比べて約1.5倍増加しています。

(表2) 高齢化率(老年人口比率)の推移



(3月31日時点)

(表3) 栄区の高齢世帯数

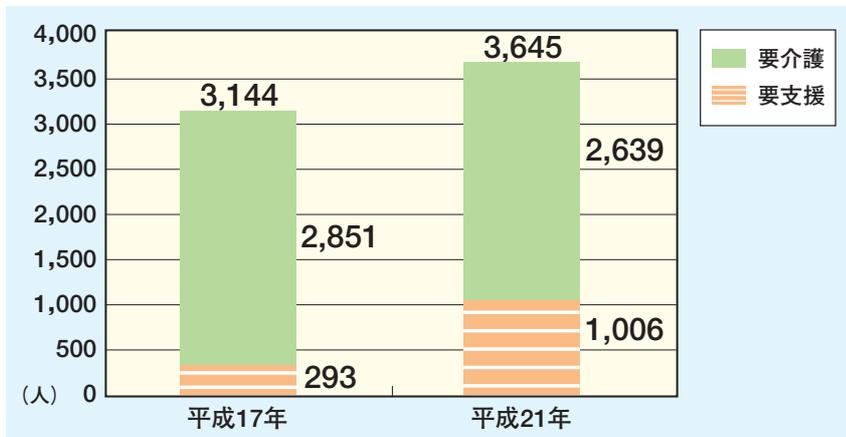


国勢調査(平成12年・平成17年)

2 栄区における要支援者の増加

栄区においても、要介護・要支援の介護認定を受けている方、障害者手帳を所持している方や生活保護を受けている方など、地域で暮らしていくのに、支援を必要とする方（要支援者）が増加しています。

(表4) 栄区の介護認定者

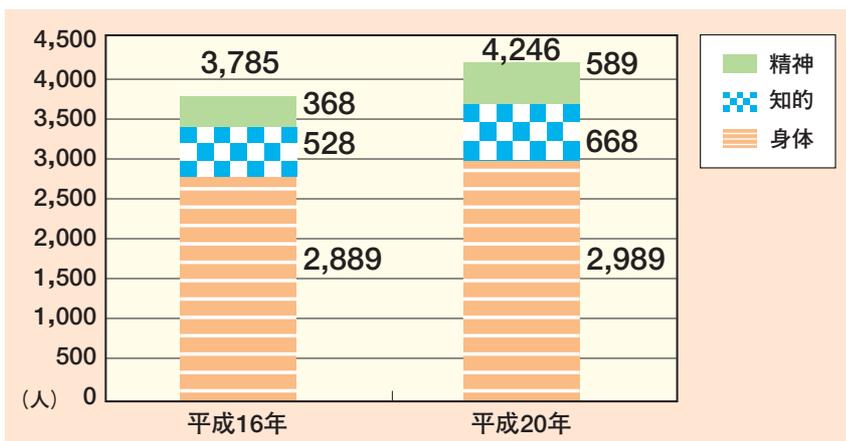


各年9月30日現在

栄区把握数により作成

注) 平成18年度の介護保険制度改正により、要介護状態の区分が6段階から7段階になりました。従来の「要支援」は「要支援1」に、「要介護1」は「要支援2」または「要介護1」に区分されます。

(表5) 各種手帳所持者数

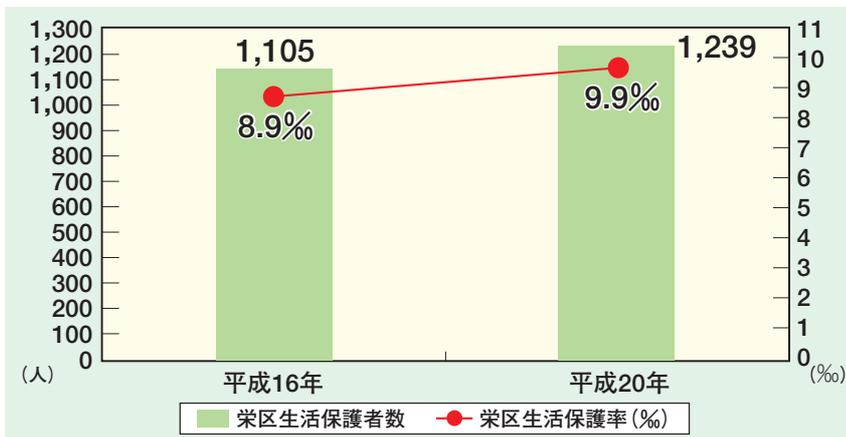


各年度3月31日現在

栄区把握数により作成

[身体]
身体障害者手帳所持者数
[知的]
知的障害者療育手帳
(愛の手帳) 所持者数
[精神]
精神障害者保健福祉手帳所持者数

(表6) 生活保護者数・保護率



各年度3月31日現在

栄区把握数により作成

% = 1000分の1を1とする単位
[保護率]
人口1,000人あたりの被保護人数を表します。

3 地域での福祉保健等の活動・医療

(1) 福祉保健をはじめとした、各団体の活動が盛ん

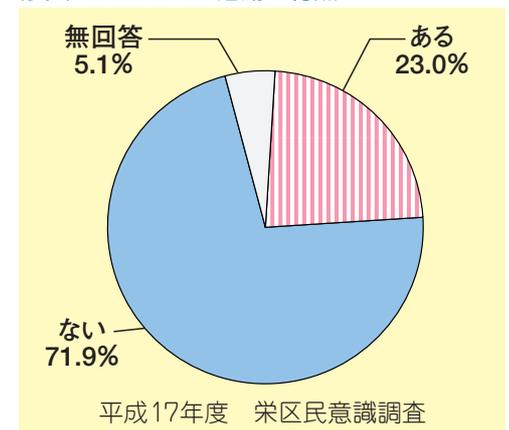
自治会・町内会が地域コミュニティの核となっており、各福祉施設等を拠点として配食サービスや移送サービスが行われるなど福祉活動が盛んです。また、高齢社会にいち早く対応し、生涯学習活動も全区的に行われ、特にスポーツ、音楽などの体育・文化系の各種団体が多いのが特徴で地域コミュニティの形成につながっています。

一方で、各団体において、高齢化等により、担い手が不足しており、新たな担い手の広がりが必要になってきています。

栄区内の主な活動団体

さかえ区民活動センター(ぶらっと栄)登録団体数			
	263件	(平成21年4月14日現在)	
子育てサークル	45件	(平成21年3月31日現在)	
水辺愛護会	15団体	(平成21年3月31日現在)	☆
町ぐるみ健康づくり	22団体	(平成21年3月31日現在)	☆
		☆市内最大団体数	

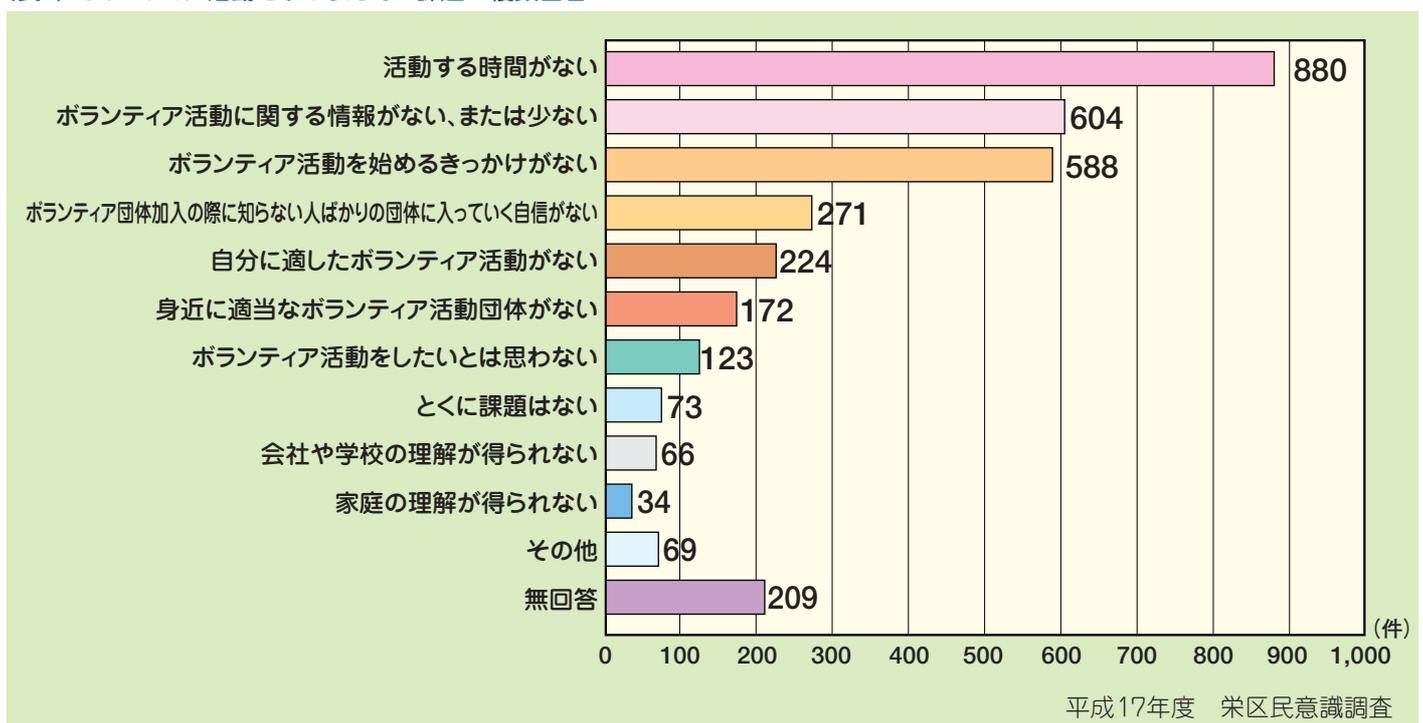
(表7) ボランティア活動の有無



栄区社会福祉協議会 ボランティア登録数

	登録者数		累計
	19年度	20年度	
個人登録	48	69	274
内訳) 男性	24	28	138
女性	24	41	136
グループ登録(人数)	17(251)	15(181)	116(2,479)

(表8) ボランティア活動をするうえでの課題 複数回答

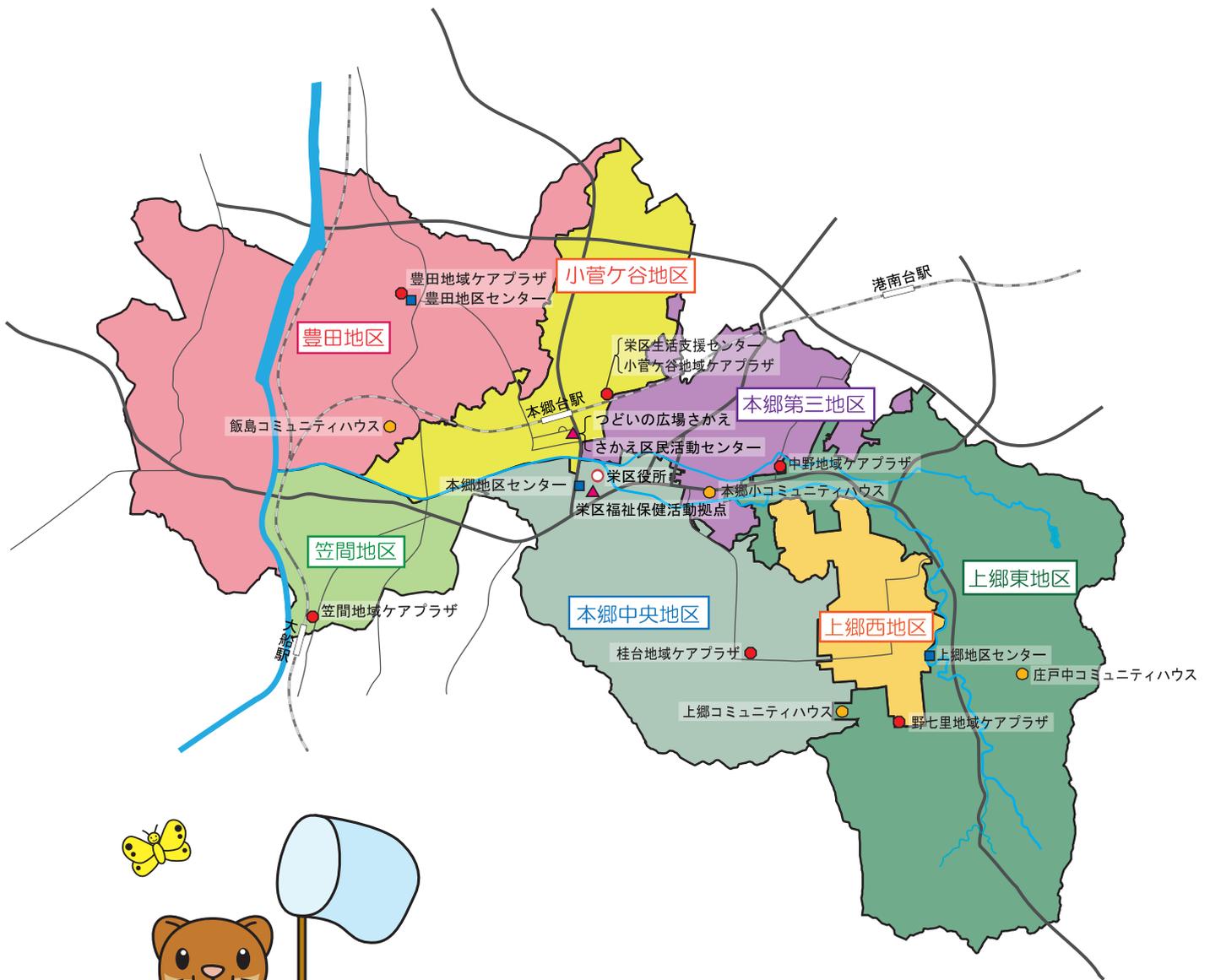


(2) 福祉保健をはじめとした、活動施設の状況

区内には、地域の福祉・保健活動を支援し、福祉・保健サービス等を身近な場所で総合的に提供する施設である地域ケアプラザが6か所、福祉保健活動拠点、生活支援センターがそれぞれ1か所整備されています。また、市民活動・生涯学習施設として、さかえ区民活動センター（ぷらっと栄）、地区センターが3か所、コミュニティハウスが4か所整備されています。

しかしながら、一部の地域においては、地域ケアプラザやコミュニティハウスが未整備なエリアがあります。また、区ごとに1館整備を目標としている、地域子育て支援拠点や青少年の地域活動拠点についても未整備となっています。

(図1) 福祉保健等に関わる施設の分布



【施設の説明】

地域ケアプラザ

- 地域の福祉・保健活動を支援し、福祉・保健サービス等を身近な場所で総合的に提供しています。栄区内には、6か所整備されています。

<地域交流・活動部門>

多目的ホール等の活動スペースの提供、各種講座の開催、ボランティアに関する情報の提供など地域活動を支援しています。

<地域包括支援センター>

地域の身近な相談窓口として、専門職員（社会福祉士、主任ケアマネージャー、保健師等）を配置し、福祉・保健に関する相談を受けています。

<居宅介護支援部門>

介護保険についての専門相談、申請の代行、ケアプランの作成を行います。

<通所介護部門（デイサービス）> ※野七里地域ケアプラザは除く

日帰りで、食事・入浴・レクリエーションなどを楽しめます。

福祉保健活動拠点

- 自主的な福祉保健活動を身近な地域でより活発に行うための場です。区内を中心に活動する関係団体やボランティアが活動しています。拠点には、多目的研修室、団体交流室、対面朗読室編集室、録音室、点字製作室、印刷室を備えています。栄区福祉保健活動拠点の愛称は『ピアハッピー栄』です。

生活支援センター

- 地域で生活する精神障害者の社会復帰、自立、及び社会参加を促進するため、ソーシャルワーカーなどによる日常生活相談や食事（夕食）サービス、入浴サービス、生活情報の提供などを行っています。

区民活動センター

- 地域の情報や、イベント・サークル紹介・ボランティア募集の情報などを提供し、区民の自主的な活動（市民活動・生涯学習・地域活動など）をサポートする施設です。さかえ区民活動センターの愛称は、『ぷらっと栄』です。

地区センター

- 子どもから高齢者の方が、文化活動、軽スポーツ、レクリエーション・クラブ活動、料理、工芸教室を通じて相互の交流を深める場として、多目的に活用されています。個人で利用できる図書コーナー・プレイルームや、主に団体に利用いただく会議室・料理室・音楽室・工芸室などがあります。

コミュニティハウス

- 市民の交流や地域活動の身近な拠点。グループ活動などに利用できる集会室等を備えた施設です。

つどいの広場さかえ

- 障害者の相談及び発達障害児の放課後活動の支援を行います。また、子育て不安の解消を図るため、子育て中の親子がつどい、交流が図れる場を提供しています。

地域子育て支援拠点

- 就学前の子どもとその保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供や子育てに関わる方の研修会などを行う子育て支援の拠点です。

青少年の地域活動拠点

- 青少年が気軽に集い、①自由にくつろぐ場の提供、②仲間や異世代と交流する機会の提供、③地域資源を活用した社会参加・職業体験プログラムの実施、④不登校や学習困難な生徒への学習サポート及び生活支援、⑤青少年育成に取り組む支援者の情報交流・ネットワーク及び人材育成の拠点です。

(3) 栄区の医療をめぐる状況

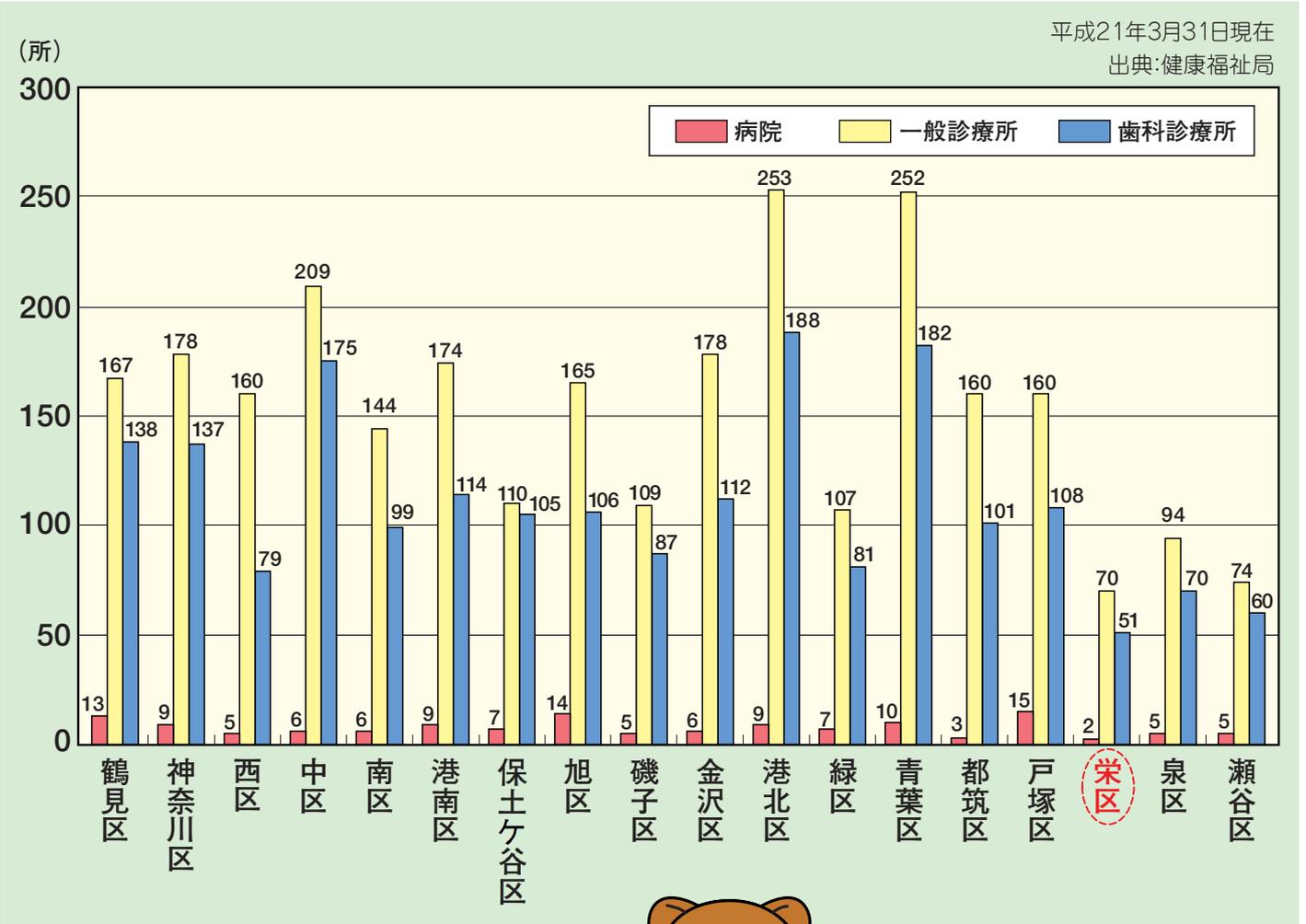
栄区内の病院数、一般診療所数、歯科診療所数は全市で最少です。また、出産できる施設も助産所1施設という状況であり、平成20年度市民意識調査においても、病院や救急医療など地域医療の充実が、区民要望の第1位となっています。

(表9) 市政への要望

	栄区	横浜市
第1位	病院や救急医療など地域医療	病院や救急医療など地域医療
第2位	高齢者福祉	地震などの災害対策
第3位	地震などの災害対策	高齢者福祉
第4位	緑の保全と緑化の推進	防犯対策
第5位	防犯対策	ごみの不法投棄対策やまちの美化

平成20年度横浜市市民意識調査

(表10) 区別医療施設数



中学生アンケートの結果

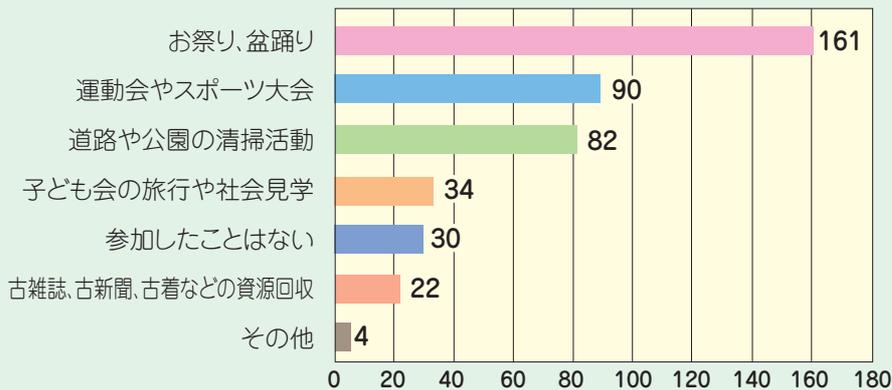
未来を担う中学生の地域福祉保健に対して抱えているイメージを把握するために、アンケート調査を実施しました。

(実施時期・方法:平成21年9月 区内の市立中学7校の2年生のうち212人を対象)



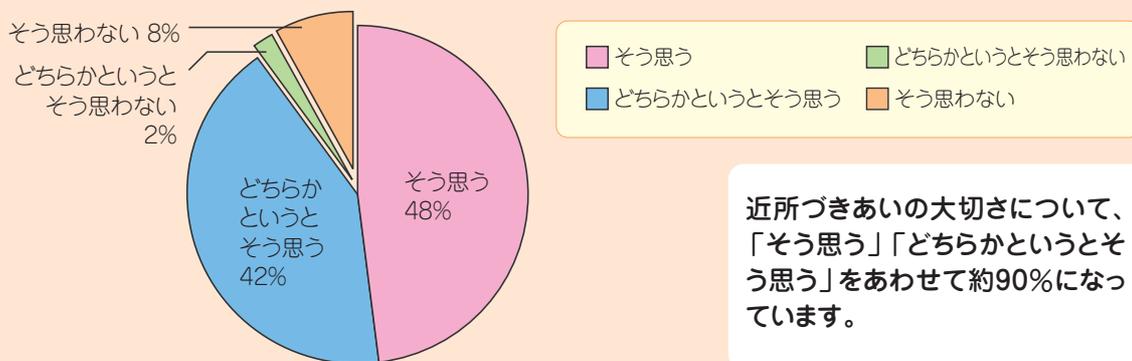
地域での支えあいに関する区内中学生アンケート結果

1 いままで、どのような地域の行事や活動に参加したことがありますか ※複数回答



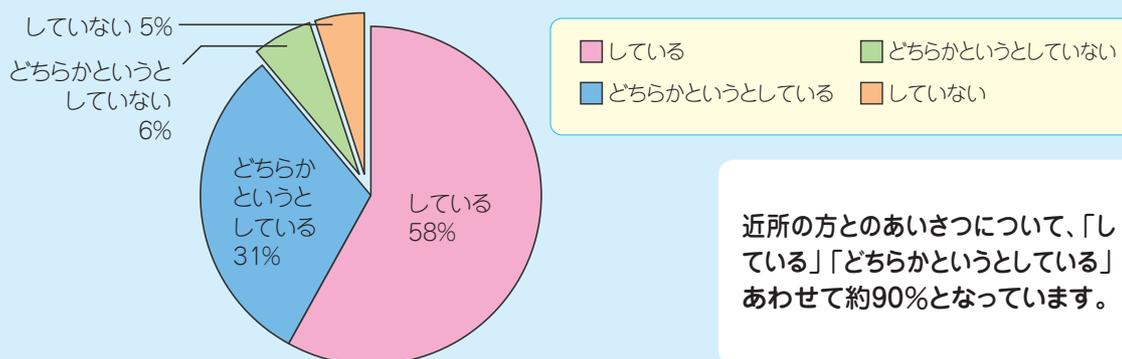
「お祭り、盆踊り」や「運動会やスポーツ大会」などの行事関係の活動の回答が多くなっています。

2 近所づきあいは大切だと思いますか



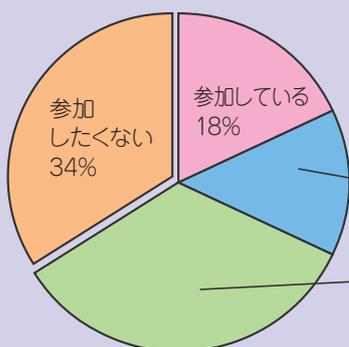
近所づきあいの大切さについて、「そう思う」「どちらかというと思う」をあわせて約90%になっています。

3 近所の方とあいさつはしていますか



近所の方とのあいさつについて、「している」「どちらかというとしている」あわせて約90%となっています。

4 ボランティア活動に参加していますか。あるいは参加したいと思いますか



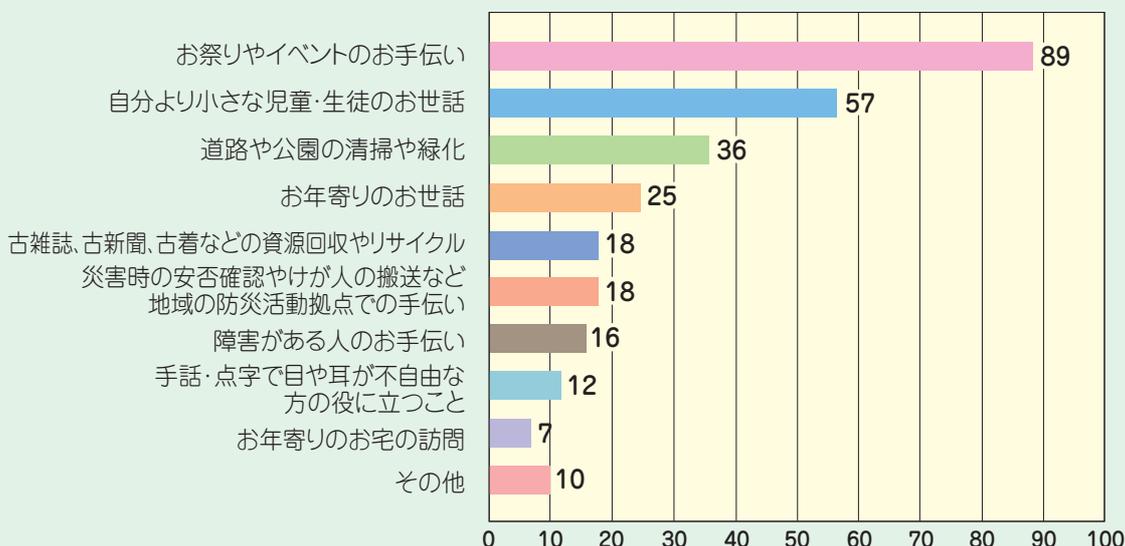
■ 参加している ■ これまで参加したことはないが内容によっては参加したい
■ これまで参加したことはないが参加したい ■ 参加したくない

これまで参加したことはないが参加したい 14%
 これまで参加したことはないが内容によっては参加したい 34%

ボランティア活動の参加状況・意識について、「参加している」が18%にとどまるものの、「これまで参加したことがないが参加したい」・「これまで参加したことがないが内容によっては参加したい」が約50%となっています。一方で、「参加したくない」と答えた割合も34%になっています。

5 どのような活動に参加したことがありますか あるいは参加したいと思いますか

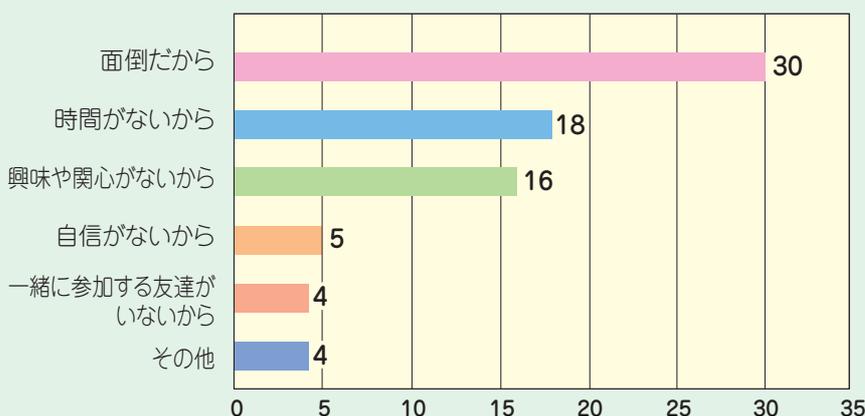
※複数回答



参加したことがある活動や興味のある活動が「お祭りやイベントのお手伝い」「自分より小さな児童・生徒のお世話」「道路や公園の清掃や緑化」など、自分たちの身近なところにある活動に回答が多くありました。

6 参加したくない理由は何ですか

※複数回答



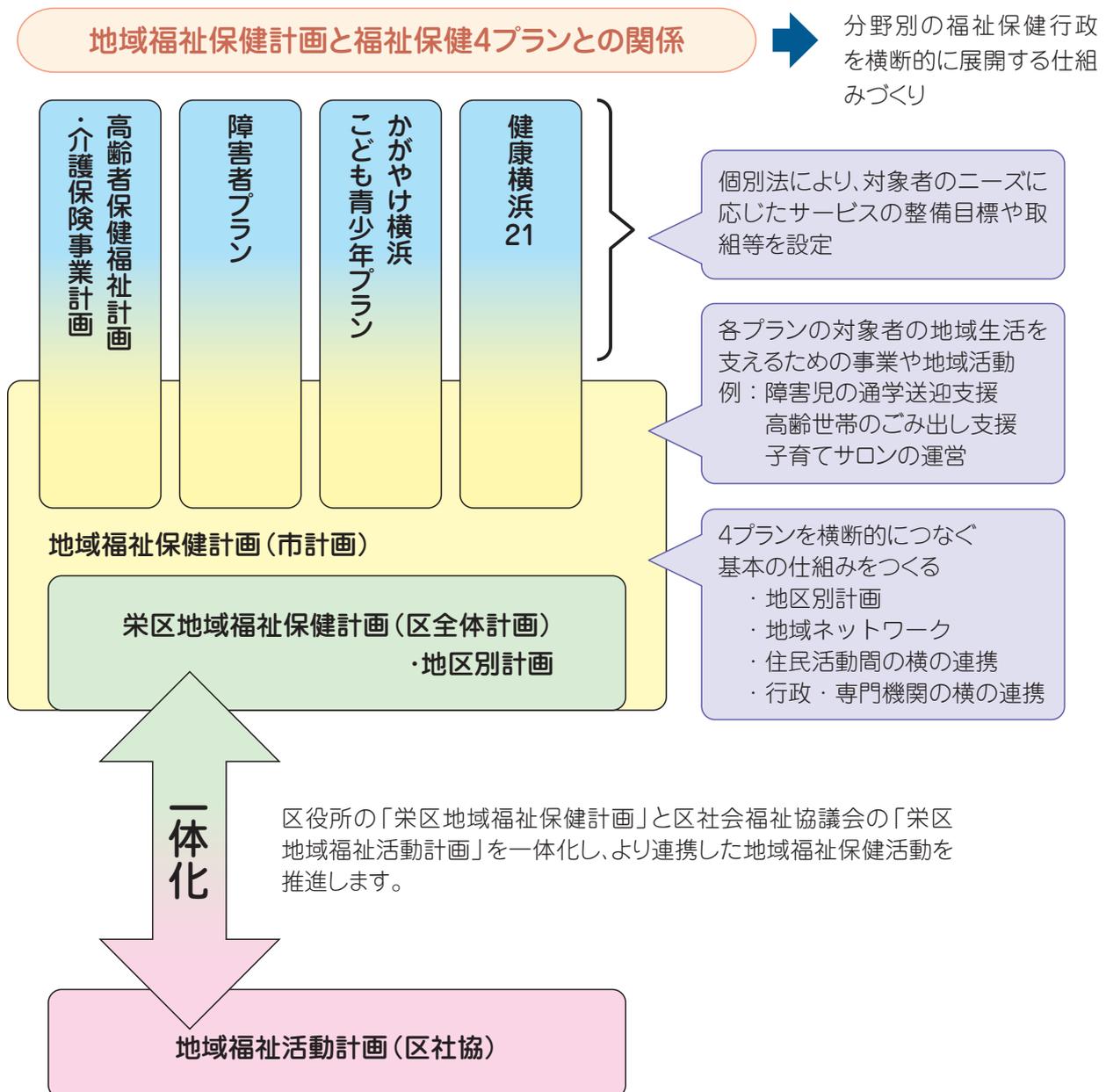
「時間ないから」という回答が18件あり、中学生が忙しい状況がうかがえます。「面倒だから」という回答は30件、「興味・関心がないから」という回答が16件あり、中学生に関心を持ってもらえる施策の必要性がうかがえます。

分野別計画との関係 栄区各計画との関係

1 個別の分野別計画との関係

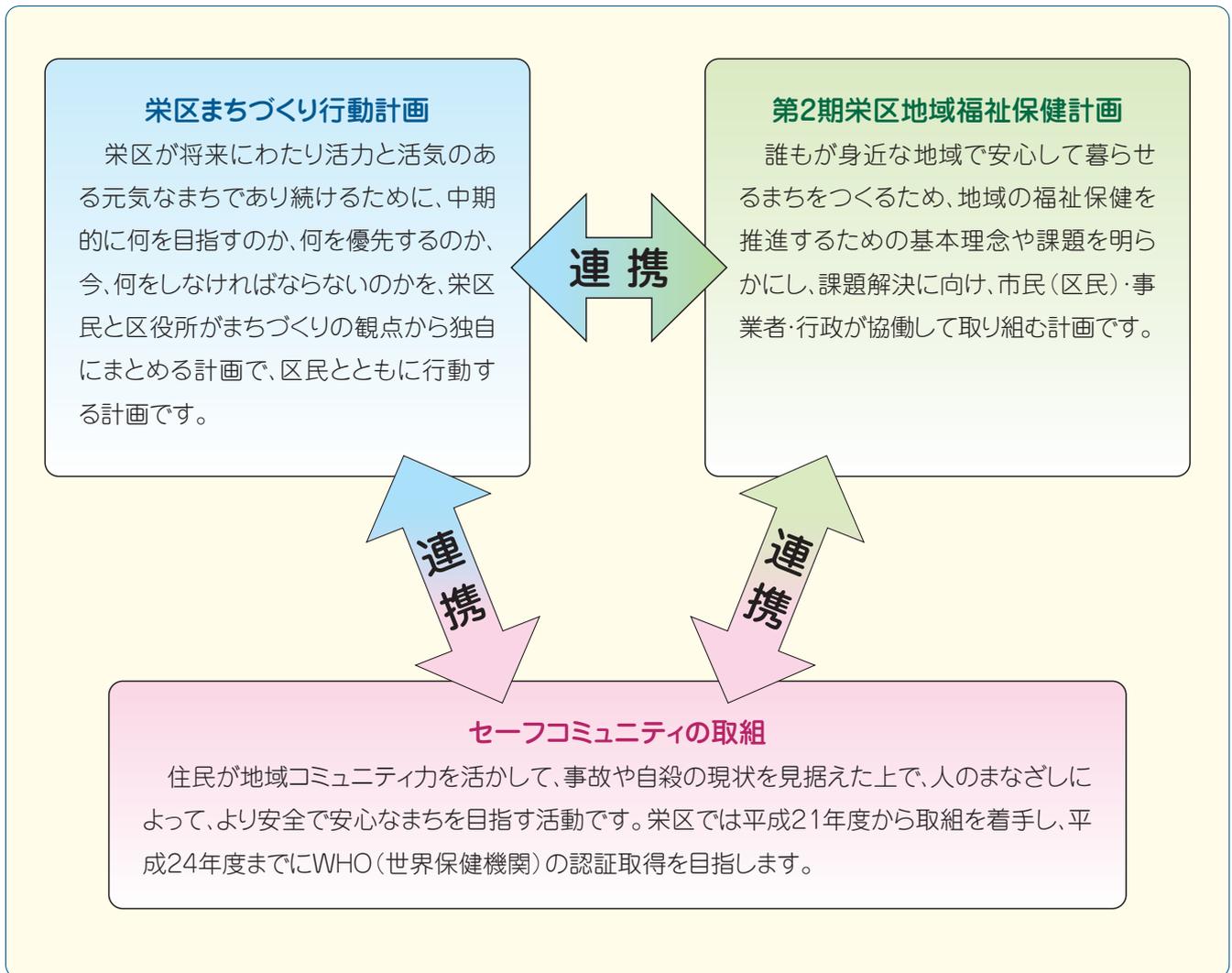
横浜市には、各法を根拠とする福祉保健の分野別計画として、高齢者については「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（老人福祉法、介護保険法）、障害児・者については「障害者プラン」（障害者基本法、障害者自立支援法）、子ども・青少年については「かがやけ横浜子ども青少年プラン」（次世代育成支援対策推進法）、保健については、「健康横浜21」（健康増進法）があります。

地域福祉保健計画（社会福祉法）は、地域の視点から高齢者、障害児・者、子ども・青少年、保健等の分野別計画に共通する理念、方針、地域の取組の推進方向などを明示します。また、市民（区民）、事業者、行政が協働する基本的な事項を横断的に定めることで、地域における展開を総括する役割を果たします。さらに、分野別計画で提示されている対象者の地域生活を支えるための事業や支援について、地域福祉保健計画でも取り組んでいきます。



2 栄区各計画との関係

第2期栄区地域福祉保健計画は、平成22年2月に確定した栄区まちづくり行動計画（計画期間：平成22～27年）と連携して栄区のまちづくりや福祉・保健の取組を推進していくとともに、安全・安心して暮らせるまちづくりについて、セーフコミュニティの取組とも連携していきます。



3 「障害」の表記について

「障害」という言葉については、「害」という文字を使っていることから、「障がい」とひらがなで表記したり、「障碍」という文字を使用したり、といった例が見られます。

今回の計画を策定にあたっては、横浜市における障害福祉施策の基本的な指針を定めている「横浜市障害者プラン（第2期）」の中でも、検討を重ねた結果を踏まえ、これまでどおり「障害」という表記で統一しています。

また、栄区では、障害のある方と地域がつながり、「障害理解」の促進につながる取組を、今後も進めてまいります。

用語解説集

あ行

∴ NPO(エヌピーオー)法人

NPOはNon-Profit Organization(民間非営利団体)の略です。不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする非営利事業に自主的に取り組む組織で、「特定非営利活動促進法」に基づき、法人格を取得しています。

か行

∴ 介護予防講座

寝たきりや認知症などによって、介護が必要な状態にならないための支援教室です。主には、筋力向上や認知症予防、栄養改善・口腔衛生・閉じこもり予防などの講座を開催します。

∴ コミュニケーションボード

知的障害者や自閉症など、文字や言葉によるコミュニケーションが苦手な人が、ボードに描かれた絵や記号を指差すことで、意思を伝えやすくする道具です。これまでに、「お店用」「救急用」「災害用」「鉄道駅用」が作成されています。

さ行

∴ 災害時要援護者避難支援の取組

災害が発生した場合、要援護者(高齢者・障害者・乳幼児がいる家族等)が迅速に避難するためには、行政による避難支援だけでは不十分であり、自治会・町内会を中心とした地域による支援が不可欠となります。

栄区では、全自治会・町内会において要援護者の把握が行われ、具体的な支援体制が整備されることを目指しています。

∴ 支えあい連絡会・(見守り)ネットワーク

地域の福祉保健活動を実施している団体、グループ、個人等が連携を図ることにより、それぞれの活動の推進とともに、課題の共有から地域課題への取組が進み、支えあいの地域づくりの発展を目指すネットワークです。

∴ サロン

身近な地域で様々な人が気軽に集える“場”のこと。町内会館を始め、空き家や空き店舗、自宅の一室など、様々な場所で開かれています。

∴ 食生活等改善推進員(ヘルスマイト)

食生活等改善推進員(ヘルスマイト)は、各区の福祉保健センターで実施している食生活等改善推進員セミナーを修了後、食生活等改善推進員登録名簿に登録された人が、健康づくりの案内役となり、栄養や運動に関する様々な取り組みを地域で行っています。

地域の人々が健康を保持増進するために、健康づくりの3つの柱“食生活、運動、休養”を基本として、適切な食生活の普及啓発活動等を行い、活力ある地域社会づくりを目指します。

∴ 自治会・町内会

自治会・町内会は、ほとんどの世帯が参加し、住民の親睦や地域活動を行う、代表的な住民組織です。行政区ごとに区連合会、地区ごとに地区連合町内会が結成されています。

栄区連合町内会は、昭和61年に設立され、現在は7の地区連合町内会の代表者で構成されています。区連合会は行政と地域の橋渡しの存在として、会員相互の情報交換、行政からの情報の伝達、地域活動に役立てるための研修を行うなど、よりよいまちづくりを目指して活動しています。

∴ 成年後見制度

認知症高齢者の方、知的障害のある方、精神障害のある方が安心して生活できるように保護し、支援する制度で、本人の判断能力の状態に応じて、「補助」「保佐」「後見」からなる法定後見制度と、あらかじめ本人が後見人になる人を決めておく、任意後見制度の2つに分けられます。法的に権限を与えられた後見人等は、本人に代わって財産管理や身上配慮を行います。

∴ 送迎サービス

送迎サービスとは、通常の交通手段では外出が困難な高齢者や障害のある方に対し、ボランティアの方の運転で、医療機関、福祉施設・団体のサービス利用、行政機関などへの外出の支援をする、地域の住民の支えあいによって行われているサービスです。

た行

∴ 地区社会福祉協議会

地区社会福祉協議会(地区社協)は、地域住民に最も身近

な社会福祉協議会として、地域の方々が、「自分たちの地域は自分たちでよくしていこう」という気持ちで組織された、福祉のまちづくりを目的に協力し合う任意団体です。栄区では、連合町内会と同じ単位で組織化されており、7つの地区社協があります。

それぞれの地区社協は、自治会・町内会や民生委員・児童委員、保健活動推進員、当事者組織等で構成され、子育てサロンや敬老のつどい、広報誌の作成等地域に応じた様々な活動を行っています。

※ 特定健康診査（特定健診）

平成20年4月から、国民健康保険や健康保険組合といった医療保険者が、40歳から74歳の加入者を対象に行なう健康診査のことです。

特定健康診査は、内臓脂肪型肥満を見つけるための腹囲測定や心臓病や脳卒中などの危険因子を判定するのに効果的なLDLコレステロール検査項目を加え、メタボリックシンドロームの該当者や予備群をいち早く見つけられる健診です。

※ 特別避難場所

特別避難場所は、地域の小学校等に設置された地域防災拠点での避難生活に対応できない、在宅要援護者のための避難場所です。

横浜市防災計画では、地域ケアプラザ等の社会福祉施設等を特別避難場所として指定し、食料等の備蓄整備助成を行っています。

は行

※ 徘徊高齢者SOSネットワーク

認知症による徘徊で行方がわからなくなってしまった高齢者を、警察と行政・交通機関等の協力機関が連携して、できるだけ早く発見し家族のもとに帰すことを目的としたシステムです。

ご家族が事前に登録することで、栄区役所・栄警察署・地域ケアプラザ等で情報が共有化され、発見と保護が迅速かつ適切に行えるようになります。

※ 保健活動推進員

保健活動推進員は、横浜市保健活動推進員規則により設置されています。

地域における市民の健康づくりを推進するために、市長から委嘱を受けて活動します。地域の健康づくりの推進役、行政の健康づくり施策のパートナー役として、各区の福祉保健センターや地域の団体等と連携して、健康づくりに関するさまざまな活動を行います。

任期は2年間で再任されることができ、就任時の年齢は、原則として満78歳未満です。

推進員の身分は、非常勤の特別職公務員に該当します。また推進員は、連合町内会と同じ単位で組織化され活動しています。

ま行

※ 民生委員・児童委員、主任児童委員

民生委員は民生委員法、児童委員は児童福祉法により設置が定められていて、この二つの役割を兼務しています。自治会・町内会等の代表で構成される地区推薦準備会で推薦され、厚生労働大臣の委嘱を受けた非常勤特別職の地方公務員です。それぞれが担当する区域内で、住民の生活実態や福祉ニーズの把握、住民の相談・助言、行政等との連絡調整など地域福祉増進のための幅広い活動を行なっています。

主任児童委員は、児童福祉問題を専門に担当し、地区担当の民生委員・児童委員と連携・協力して、様々な児童問題について取り組んでいます。

どちらも任期は3年で、年齢制限はありますが、再任されることができます。

※ みんなが主役のまちづくり協働推進事業

だれもが暮らしやすく、活力あるまち栄区を実現するため、地域課題の解決や地域のまちづくり等、区民が主体的に実施する活動の支援や、区と協働で事業展開ができる区民活動団体の育成を目的に、主として栄区民を対象に実施する事業に対し、その事業費の一部を助成又は団体グループの立ち上げを支援する事業です。

や行

※ 友愛活動推進員・友愛活動員

友愛活動推進員設置事業要綱により地域の高齢者福祉の向上を目的として設置されています。

友愛活動推進員は、高齢者による高齢者のための相互扶助活動を実施するため、老人クラブを基盤に友愛部会を編成して、地域における福祉の実践活動や情報の伝達活動を推進します。任期は3年で、単位老人クラブからの2名推薦により、市長から委嘱を受け活動しています。

おもな活動は、要援護高齢者（ひとり暮らし等）に対する友愛活動、高齢者に関する情報の提供・普及・伝達、行政機関の行事・民生委員等の活動への協力等です。

友愛活動員は、平成20年度から新たに設けられ、単位クラブごとに編成された友愛チームを作り活動します。「話し相手、見守り」を中心に、チーム員で話し合いながら活動します。

※ 横浜子育てサポートシステム

地域の中で子どもを預けたり、預かったりすることで人と人とのつながりを助け、地域ぐるみでの子育て支援を目指しています。また、子どもを預かって欲しい人と、子どもを預かる人に会員登録をしていただき、条件の合う近隣の方との出会いをサポートします。

「栄区地域福祉保健推進会議 委員名簿」推進部会 名簿」

栄区地域福祉保健推進会議 委員名簿 敬称略・五十音順 会長、学識経験者)

委員名	参考(所属団体等)
江口 一彦	栄区医師会 副会長
奥代 智子	栄区社会福祉協議会ボランティア・市民活動団体分科会 会長
木村 長利	栄区中学校長会 理事
酒井 美佐子	横浜市幼稚園協会栄支部 支部長
杉山 紀子	栄歯科医師会 会長
高山 晋一	栄区シニアクラブ連合会 会長
田中 伸一	栄区保健活動推進員会 会長
角田 和宏	栄区連合町内会 会長
○豊田 宗裕	横浜国際福祉専門学校 顧問
長瀬 潔	栄区民生委員児童委員協議会 会長
☆野村 政晴	横浜市栄区社会福祉協議会 会長
日浦 美智江	社会福祉法人「訪問の家」 理事長
星野 高志	栄区薬剤師会 会長
師 康晴	社会福祉法人「杜の会」 理事長
山上 東平	栄区青少年指導員協議会 会長
青木 清隆	栄区福祉保健センター長
吉川 義晴	栄区福祉保健センター担当部長

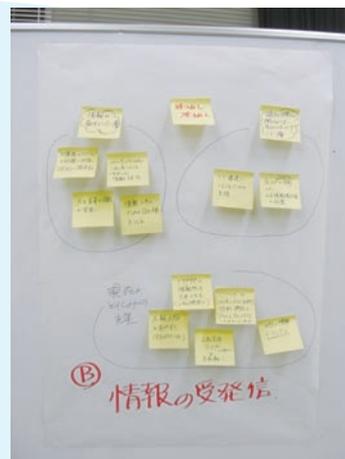
推進部会 名簿(敬称略・五十音順)

委員名	参考(所属団体等)
浅沼 豊市	小菅ヶ谷地域支えあい連絡会
雨宮 久	本郷第三地区支えあい連絡会
安藤 仙治	豊田地区支えあい連絡会
飯田 千恵子	栄区食生活等改善推進委員会 会長
稲塚 早苗	笠間地区支えあい連絡会
岩堀 まゆみ	OYAKO CLUB チューリップ
大沼 妙子	笠間地区支えあい連絡会
落合 久昭	栄区シニアクラブ連合会 副会長
金子 章子	あしたばの会 副代表
亀澤 弘	本郷中央地区支えあい連絡会
小西 淳一	栄区青少年指導員協議会 副会長
小華和 紘記	上郷西地区支えあいネットワーク
高橋 勝美	上郷東見守りネットワーク・地区社会福祉協議会
中村 涼子	グループ桂台 代表
三留 芙美子	栄区民生委員児童委員協議会 副会長
室井 賢	栄区保健活動推進委員会 副会長

活発な議論
ありがとうございました。



グループワークの様子



みんなで一緒に
取り組んでいこう!



栄区 いたち川マスコット
タッチーくん

「第2期 栄区地域福祉保健計画」

発行：平成22年3月

発行者：横浜市栄区福祉保健課

〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19（新館3階）

電話：045-894-6917

FAX：045-895-1759

電子メール：sa-fukuhoplan@city.yokohama.jp

ホームページ：http://www.city.yokohama.jp/me/sakae/fukuho/2chifuku/

社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0005 横浜市栄区桂町279-29

電話：045-894-8521

FAX：045-892-8974

電子メール：office@sakaeku-shakyo.jp

ホームページ：http://www.sakaeku-shakyo.jp/

